

昭和から平成の激動の時代を生きたバスが今蘇る！ レトロバス『いすゞBU04』の再生に取り組んでいます



いすゞBU04型路線バス(2006年撮影)



再生作業中の様子(2023年11月撮影)

国際興業株式会社(本社:東京都中央区、代表取締役社長:南 正人)は、株式会社トミーテック(本社:栃木県下都賀郡壬生町、代表取締役社長:岩附 美智夫)所有の「いすゞBU04」型路線バス車両(1980年式・当社元3491号車)を譲り受け、営業用ナンバーを取得すべく、鋭意再生工事に取り組んでおります。

いすゞBU04型路線バスは、1973年(昭和48年)から1980年(昭和55年)にかけて導入された当時の主力車種で、最後の車両が1993年(平成5年)に引退するまでの間、東京都内から埼玉県内の当社の全エリアで活躍しました。この時代は、営団地下鉄有楽町線や国鉄埼京線の開業により当社の路線網が大きく姿を変えることとなった、当社にとってまさに激動の時代といえます。

この度、当社路線バスの激動の時代の生き証人として、さらには復活後に主に運行するエリアとなる飯能地区の活性化のシンボルとして、この「いすゞBU04」の再生・保存に取り組むことと致しました。各種イベントを通じて、当時を知る皆様には懐かしく、若い皆様にとっては逆に新鮮な、昭和から平成初期にかけての路線バスの雰囲気を感じて頂きたいと考えております。

■いすゞBU04(元3491号車)の歴史■

- ◆1980年1月 3491号車として赤羽営業所にて新車登録
- ◆1993年 当社にて廃車、岩手県交通へ売却
- ◆2005年 岩手県交通にて廃車
- ◆2006年3月 当社商事部主催「さよならBU型バスおわかれイベント」にて展示後、トミーテックに譲渡
- ◆2024年2月 再生工事を経て復活予定

■BU04の再生に関するお願い■

- ・お披露目等の日程については、準備ができ次第、国際興業バスHP等でお知らせ致します。
- ・当社宛・トミーテック宛ともに、**本件に関するお問合せは通常業務の支障となりますのでお断り致します。**
- ・車両整備のため、当車両が公道を走行することがあります。もしお見かけになった場合でも“追っかけ”行為等は大変危険が伴いますので、お止めくださいますようお願いいたします。
- ・危険な“追っかけ”行為を防止するため、SNS等へ写真や行先を即時にアップすることもお止めください。
- ・整備工場や運輸支局などでの敷地内撮影、もしくは外から同構内を撮影することは固くお断りします。